

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 小江原小学校区



令和5年7月24日（月）、自治会や育成協、育友会、民生委員、交通安全協会など16人の皆さんにお集まりいただき、小江原小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

最初の自己紹介では、日ごろの地域で行われている自治会活動や交通安全活動、地域の伝統行事のペーロンなど地域の特色ある活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①小江原第2団地の建て替え計画について

建て替え計画の進捗を知りたい。政策空き家の期間が長く、自治会活動もできなくなった。市営住宅も建替えまでの間、何らかの手が打てないのか。

市の考え方・回答

人口減少や高齢化に伴い公共施設の今後の在り方の一つとしてその縮減に取り組んでおり、市営住宅においても約9300戸を2040年に約6200戸に縮減することを目標としています。小江原第2団地が該当する築後40年以上の住宅は建替えや用途廃止を進め約5割の縮小を行うこととしています。

小江原第2団地の建替えについては、当団地より古い団地もあり、また、予算の確保の問題もあり、現時点で建替えの時期が見込めない状況です。

政策空き家（一般募集を停止している住戸）の活用につきましては、小江原第2団地において、新規就労者・移住者を対象に募集をしており現在、1世帯に入居していただいている状況です。

今後も、若い人の入居につながるよう、他の活用策などがないかどうか、検討していきます。

②北高前の信号機について

下校中の子どもたちにとって危険だと感じるため、登校時と同様に歩車分離にできないか。

市の考え方・回答

浦上警察署への聞き取りによると、夕方の歩車分離については、できないわけではないが、下校時刻が学年で異なるため、時間帯を設定しづらい状況とのことです。変更の要望を出す場合は、地域の自治会等から浦上署へ要望書を提出してもらい、それを受けて交通量等の確認も含め検討に入ることになるとのことです。

③避難所の屋外トイレについて

避難所となっている体育館に隣接したトイレが、バリアフリーになっていない。

市の考え方・回答

体育館に隣接する屋外トイレは男女2基（洋式1、和式1）ずつ設置していますが、スロープや手すりの設置によるバリアフリー化が難しい状況です。

学校側と協議した結果、校舎棟1階にスロープが設置済のトイレがあり、若干の改修で車いすによる利用が可能となることから、必要な改修を行いましたので、今後はそちらをご活用いただければと思います。

併せて、当該トイレに近い校舎棟1階に避難スペースを確保するよう調整したため、車いす利用者や高齢者等で移動に支障がある方などは、校舎棟内に避難していただくよう対応します。

④買い物難民について

昼間のバスの減便により買い物が不便になり、買い物難民が出てきている。

市の考え方・回答

日常の買い物に不便を感じている方々のために、民間事業者による宅配、送迎、移動販売などのサービスが実施されています。その情報を一覧にまとめて、ホームページにて情報提供していますので、ご利用ください。（「長崎市 宅配サービス」で検索）

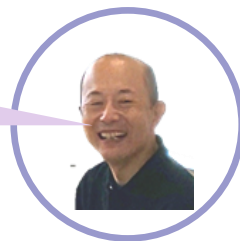
そのほか、「高齢化により、自治会活動が困難になってきている」、「部活動の地域移行について情報を発信してほしい」、「民生委員のなり手が少ない」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

お話を伺う中で、改めて少子高齢化の問題が深刻であると認識し、若い人たちが住みたくなるようなまちづくりのための施策の大切さが分かりました。

大きな課題が多いですが、市民の皆さんから色々なお話を伺いながら、しっかり頑張っていきたいと思います。



参加者からの感想

（バスの減便により買い物が不便になったことについて）
事業者と連携を取りながら、交通ネットワークを進化していきたいとの市長のお話に期待しております。

普段あまり考えていない色々な長崎の抱える問題点を知る事ができた。

市長さんを身近に感じました。
お顔をしっかり覚えました。

市民(地域)の声をとりあげることで、市全体のテーマをとりあげることができると思います。

